

「現場の経営者!? 当たり前の日常を作る インフラ整備の仕事」にセンニュウシャイン!



身に付く力
得られる経験

- ・地域のインフラ整備の最前線を見れる
- ・たくさんの方と連携し、物事を進めるコミュニケーション能力
- ・物事を管理する力

オモイ・カダイ



私たちは人々が日常生活の中で使う、道路や橋・防潮堤を作る土木工事を行っています。当たり前にあるもの作りは、決して一人の力ではできません。

そこで大切になってくるのが、現場と取りまとめる「現場監督」という仕事です。作業の工程を決めたり、品質を管理したり、関係各所との調整を行うなど、より良いもの作りができるよう、管理する仕事です。

まさに現場の経営者と言っても過言ではありません。

しかし、現在その仕事を担う次世代がないことが会社にとっての大きな課題です。ぜひ、仕事を体感してみて、一緒にまちづくりをする担い手になりませんか？

センニュウ内容

現場で施工管理を行う先輩社員に就きながら、測量や安全、品質管理（写真撮影）などを実施します。センニュウしてわかったことや、現場の様子をレポートしてもらい成果物（弊社 SNS の投稿・学生むけの新卒採用サイトでの投稿）を作成していただきます。



こんな方をお待ちしております!

- ・インフラ整備に興味がある
- ・ものや人を管理する経験が欲しい
- ・さまざまな人とコミュニケーションを取れるようになりたい

活動詳細

✓ 活動形態

対面（気仙沼） ※交通費や宿泊場所の支援については、本人と相談の上決定します。

✓ 活動期間

8月24日（水）～8月26日（金） ※個別調整も可能です

✓ 対象

大学3年生

※2・3年生もチャレンジ可能です。

※学部・学科は問いません！文系学生も歓迎します◎

株式会社菅原工業

土木建設という仕事で地域を支えて、57年！

震災以降は、気仙沼の復興工事を多く請け負うとともに、インドネシアでも道路資材の製造を行うなど国内外問わずさまざまなところでインフラ整備に関わってきました。



関連会社では飲食業も行うなど、多角的な角度からまちづくりに貢献しています！

